

# ブロック塀等の安全対策について

本年6月、大阪府北部において発生した地震により、ブロック塀が倒壊し、尊い命が失われました。ブロック塀等は、プライバシーの確保や防犯の役割を持っていますが、地震によって倒壊したブロック塀等は、道路をふさぎ、被災者の避難や救助活動を妨げるばかりか、人命を脅かす凶器となる可能性があります。

ブロック塀等の維持管理は、所有者・管理者の責任であり、「ブロック塀の点検のチェックポイント」を用いて点検・診断し、危険性が確認された場合は、建築士や専門の業者に相談するとともに、付近通行者への速やかな注意表示を行うとともに、補修・撤去等の対応をお願いします。

尚、ブロック塀等に関する相談は、大隅地域振興局建設部土木建築課建築係（☎ 0994-52-2188）でできます。

## 【ブロック塀の点検のチェックポイント】

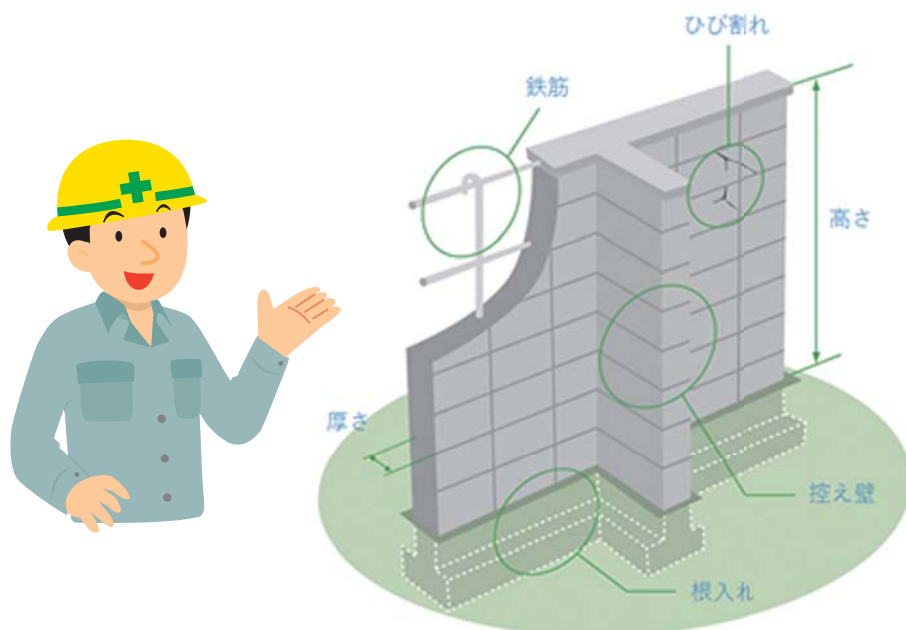
以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。

### ★ブロック塀（鉄筋で補強されたブロック造）の塀の場合

①塀の高さは地盤から 2.2 m 以下か。
②塀の厚さは 10 cm 以上か。（塀の高さが 2 m 超、2.2 m 以下の場合は 15 cm 以上）
③塀の高さが 1.2 m 以上の場合は、塀の長さ 3.4 m 以下ごとに塀の高さの 1/5 以上突出した控え壁があるか。
④コンクリートの基礎があるか。
⑤塀に傾きやひび割れはないか。
⑥【専門家に相談しましょう】 塀の中に鉄筋が適正に入っているか、基礎の根入れ深さは 30 cm 以上か。

### ★組積造（れんが造、石造、鉄筋のないブロック造）の塀の場合

①塀の高さは地盤から 1.2 m 以下か。
②塀の厚さは十分か
③塀の長さ 4 m 以下ごとに塀の厚さの 1.5 倍以上突出した控え壁があるか。
④基礎はあるか。
⑤塀に傾きやひび割れはないか。
⑥【専門家に相談しましょう】 基礎の根入れ深さは 20 cm 以上か。



出典：パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会 2013.1より一部改